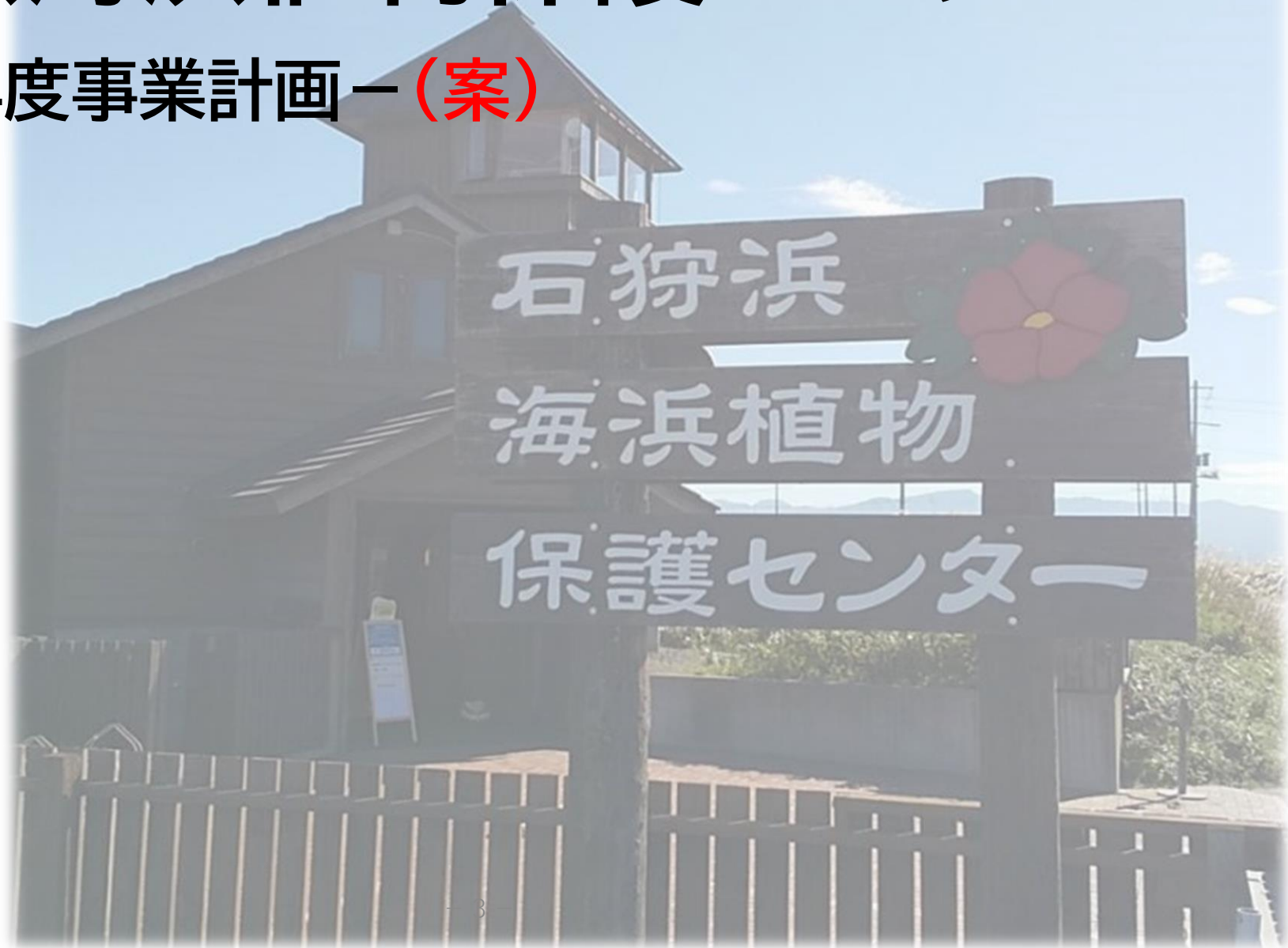


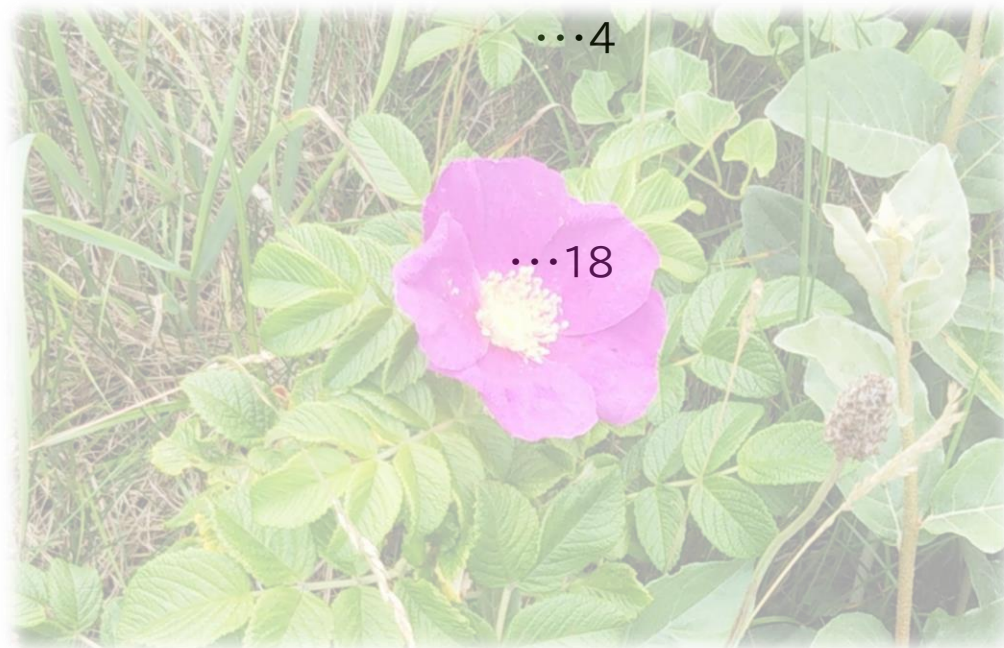
# 石狩浜海浜植物保護センター

— 令和6年度事業計画 — (案)



# 目次

- 1. 石狩海浜植物保護センター ……1
- 2. 石狩海浜植物保護センター事業とアクションプラン策定の背景 ……2
- 3. 令和6年度石狩海浜植物保護センター事業方針 ……3
- 4. 令和6年度事業概要について ……4
- 5. 石狩海浜植物保護センター運営体制 ……18



## 2. 石狩浜海浜植物保護センター



### 石狩市石狩浜海浜植物保護センター条例

#### (設置)

**第1条** 本市は、石狩浜に自生する海浜植物の保護等を行い、及び植物を始めとする自然環境の保全に関する意識の普及啓発を図ることにより、自然豊かな都市環境の形成に寄与するため、石狩浜海浜植物保護センター(以下「センター」という。)を石狩市弁天町48番地1に設置する。

#### (事業)

**第2条** センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 海浜植物の調査、保護及び増殖に関すること。
  - (2) 石狩浜の自然環境の保全に関すること。
  - (3) 前2号に掲げる事項に関する資料の展示及び学習の指導に関すること。
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの設置目的を達成するために必要な事業
- 2 センターは、前項の事業を行うに当たっては、海浜植物の保護等を目的として活動する団体との連携を保つものとする。

### 【設計当初】

石狩浜の砂丘、海岸草原や天然生海岸林にある植物の保護、快適な自然環境を創造するための拠点として設置。貴重な財産である恵まれた環境を保全してゆくための方針を確立するとともに、ライフスタイルの多様化に伴う幅広い自然市民ニーズにこたえてゆくための自然とのふれあいの場の創出と保護、保全、緑化の推進を図る必要性を求められている。【引用:平成9年度(仮)海浜植物保護センター基本・実施設計業務委託＝業務報告書＝】

### 【コンセプト】

展示室・観察園・再生園の3つに大きく分かれており、全て連動して観察できるように工夫している。展示室は、石狩浜の成り立ちや、保護の歩み、海浜植物の基本情報を常設している。その他、観察園で見られる海浜植物の開花情報を更新している。観察園は、再現区として石狩浜の代表的な海から海岸林までの植生遷移を再現をしている。全体として、ハマナス群落を軸に、自生地に設定した見本区をもとに植生管理をしている。その他、種子の保存・苗作りなども並行し、育成手法の蓄積をしている。再生園は、ハマナスが彩る景観の保全と、ハマナスを通じた地域の魅力発信に向けて、ハマナス群落の再生手法の検証と、ハマナスの花弁や果実の持続可能な利活用を進めている。

# 1. 石狩浜海浜植物保護センター事業とアクションプラン策定の背景

生物多様性条約

生物多様性基本法  
(生物多様性国家戦略)

環境基本法  
環境関連法

北海道生物の多様性の  
保全等に関する条例

石狩市環境基本条例

石狩市環境基本計画  
豊かな自然と多様な生物、  
そして人とが共生するまち

石狩市  
生物多様性  
地域戦略

石狩浜  
アクションプラン

アカモズ  
アクションプラン

石狩浜海浜植物保護センター事業

## ○石狩浜アクションプランについて

世界的な生物多様性の損失が指摘されている中、石狩浜においても例外ではなく、生物多様性が失われている。今一度問題を見直し、生物多様性の損失を食い止める保全施策を有識者の意見を踏まえて、石狩浜の状況に合わせて検討する必要があることから、いしかり生きものかけはし戦略(生物多様性地域戦略)の中に、石狩浜の自然に特化した石狩浜アクションプランを策定し保全を進める。

### 【保護センター設立当初の目的】

- ▶減少した海浜植物を増やす
- ▶過度なレジャー利用から海浜植物を守る

### 【新たな課題】

- ▶砂浜から海岸林の連続した海浜生態系の保全  
(外来種、内陸化、人為的改変等による海浜植物の衰退)
- ▶局所的に残る環境に依存する種の保全
- ▶保護地区化による保全状況の把握(データの蓄積)
- ▶自然とのふれあいの機会促進

## ○石狩浜海浜植物保護センターの方向性について

石狩市生物多様性地域戦略や石狩浜アクションプランを踏まえて、海浜植物を基盤とした海浜生態系・生物多様性の普及啓発を目指す

### 3. 令和6年度石狩浜海浜植物保護センター事業方針

事業方針		事業概要	環境基本計画方針
I	情報・学び・体験の場として 施設機能の充実	【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上
II	データに基づく保全対策	【調査・研究・保全事業】 海浜植物保全に関する生態・生育情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。	生物多様性の保全
III	自然資源の適正管理と適正利用	【自然資源の保全・活用】 海浜植物等保護地区における海浜植物や地形の状況把握、過度なレジャー利用に対する注意喚起、本来の保護地区としての利活用に関する維持管理等を実施する。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上
IV	石狩浜の自然に対する シビックプライド浸透のための 基盤づくり	【資源活用の基盤整備事業】 持続可能な範囲内で海浜植物を活用していくことで、自然とのふれあいの創出や、多様な主体が保全に関わる基盤を構築する。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上 様々な主体との連携・協働

### ○第3次石狩市環境基本計画(令和3年～令和22年)

#### 【自然環境分野】 生物多様性

豊かな自然と多様な生物、そして人とが共生するまち

施策方針	取り組み方針
I 生物多 様性の 保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の保全</li> <li>・希少種の保全、外来種の拡大防止の対策</li> <li>・他機関や市民との連携、種ごとに必要なモニタリングや対策の推進</li> </ul>
II 自然と の共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災、減災機能を活用するEco-DRRの推進</li> <li>・野生鳥獣の生態を他機関と情報共有し、管理と調和する対策の検討</li> <li>・市民が自然を学び、楽しめる自然情報の普及啓発</li> </ul>

#### 【連携・協働分野】 教育・パートナーシップ

全ての人が環境を学び、考え、行動することで、  
環境施策に「協働」で取り組んでいるまち

施策方針	取り組み方針
I 環境教育の推進、 環境意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育と環境学習の推進</li> <li>・環境情報の収集・発信</li> <li>・環境活動の担い手などの人材育成</li> </ul>
II 様々な主体との 連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換・交流の場づくり</li> <li>・協働体制の整備(活動団体への支援)</li> <li>・他自治体、民間等の関係団体(機関)との新たな環境産業の創出</li> </ul>

# 令和6年度 石狩浜海浜植物保護センター事業概要

## 事業方針

## 事業概要

## 環境基本計画方針

I	情報・学び・体験の場として 施設機能の充実	【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。	自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上
---	--------------------------	---	---------------------------

## ①展示室

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.常設展示の維持管理	石狩浜の成り立ち、海浜植物の生態的な特徴、石狩浜の生態系といった石狩浜の自然環境保全の基礎となる情報について展示をすることで、石狩浜の基礎的な情報を知ってもらい次の興味に繋げる。	開館中については、軽微な修繕等を継続し、来館者が見やすい施設づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補修、修繕の有無を点検(日常業務)</li> <li>・内容の見直し</li> </ul>
2.開花情報の発信	観察園の開花状況や、最新の様子 の発信、観察園の日常を記録し、長期的な自然情報の記録とする。	観察園の情報発信による観察園への自発的な見学者増を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察園の情報の日常的な更新</li> <li>・普及員による観察園への声かけ</li> <li>・来館者による観察情報の発信</li> <li>・フォーラムの検討</li> </ul>

★…委託事業者と実施

事業方針

事業概要

環境基本計画方針

I	<p>情報・学び・体験の場として 施設機能の充実</p>	<p>【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。</p>	<p>自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上</p>
---	----------------------------------	---	-----------------------------------

②観察園/ハマナス再生園

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
<p>1.園路およびサインの 整備・維持管理</p>	<p>来館者が安全・安心な環境のもと、快適に園内散策ができるように整備をする。</p>	<p>観察に適した園路の維持管理。 必要に応じた木道等の修繕。 植物名等のサイン表示。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常業務内で点検・管理</li> <li>・季節に応じたサインの追加、更新</li> <li>・害虫等の防除</li> <li>・園内の清掃</li> </ul>
<p>2.ゾーンの目的に沿った 植生維持管理★</p>	<p>①来館者に対し、石狩浜の見本的な植生を観察できる場とする。 ②アクティブラーニングを主として、海浜植物の生態的な特徴を展示と連動して学べるように管理する。 ③植生維持に関する生育情報を蓄積し、海浜植物の保全に活用する。 ④多様な主体の参加による植生維持管理を進める。</p>	<p>【観察園】 再現区：带状構造に沿った現状植生の維持管理。半安定帯の維持管理について知見を蓄積。 ほりほりゾーン：環境学習、夏休み自由課題等での利用促進。 【再生園】 市民参加によるハマナス群落の維持。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果をもとにした植生管理（外来種の抜き取り/生育種数の調整/ハマナスの剪定）</li> <li>・環境学習等での利用促進</li> <li>・参加型植生管理の実施</li> </ul>



事業方針

事業概要

環境基本計画方針

I	<p>情報・学び・体験の場として 施設機能の充実</p>	<p>【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。</p>	<p>自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上</p>
---	----------------------------------	---	-----------------------------------

③情報発信

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
<p>1.ホームページ維持管理 2.情報誌の発行 3.近隣施設での情報案内</p>	<p>石狩浜の自然について、遠隔地に向けた普及啓発を目的に、ネットワークを活用した情報発信。 また、市民の自主的な石狩浜の保全活動につながる情報の発信、活動の展開を図る。</p>	<p>海浜植物や、保護センターでの情報、石狩浜の生物多様性について広く情報を発信する。</p>	<p>・調査写真や、観察園の開花情報などを随時ホームページにて更新（目安として月に1度） ・年に3回の機関誌発行 ・市内回覧を活用した普及啓発の推進</p>
<p>4.CISEネットワーク・館ネットワーク・その他団体主催事業への協力・出展</p>	<p>石狩市外を中心に、石狩浜及び保護センターについて積極的なPR。自主的な活動が円滑に進むための広報等を支援する。</p>	<p>外部ネットワークへの可能な範囲内で事業協力。 自主活動への広報等の支援の実施。</p>	<p>・他団体が主催するイベントに参加</p>

CISEネットワーク...札幌近郊の自然史系博物館や動物園・図書館などの社会教育施設と大学などの研究機関が連携したネットワーク  
館ネットワーク...石狩市民図書館・公民館・いしかり砂丘の風資料館・石狩浜海浜植物保護センターの4館が合わさって、得意分野の違う4つの施設が、よりよい学習機会・情報の提供等を通してまちづくりを進めていくことを目的とし、地域資源のネットワーク化を図ります。



事業方針	事業概要	環境基本計画方針
I 情報・学び・体験の場として 施設機能の充実	【自然情報発信・体験学習事業】 海浜植物や石狩浜の海浜生態系に関わる情報を保護センターの展示室や観察園を用いて発信し、石狩浜への興味の向上と郷土愛の醸成を図り、石狩浜の保全に関する意識へつなげる。	自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上

④調査研究の発信

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
調査研究報告、 学習報告等の掲示	石狩浜の自然に関わる、研究機関や教育機関等による研究や取組について紹介することで、より深い活動について知る機会を創出。	石狩浜に関する研究情報や、環境学習での学習成果等を2～3件を目標に掲示する。	・研究機関及び、教育機関等との事前調整

⑤来館者のニーズ、意識把握

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
アンケートの実施	来館者の意見を聞く機会の創出。	来館されたお客様の率直なご意見を伺い、運営の参考にする。 オンラインアンケートも検討する。	・アンケートの設置(イベント/通常)

## 事業方針

## 事業概要

## 環境基本計画方針

Ⅱ データに基づく保全対策

## 【調査・研究・保全事業】

海浜植物保全に関する生態・生育情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。

生物多様性の保全

## ①現植生・生物相の把握

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
石狩浜モニタリング調査★	【植物】		
	石狩浜の植生遷移や変化を把握、観察園における植生管理の基礎データ等を目的に長期的なデータの蓄積を図る。	令和5年度に設定した見本植生区のモニタリングを続ける。 遷移が進む植生帯の状況を把握する。	・現地調査 (7-9月を予定)
	【動物】		
	石狩浜を利用する生物種を対象に、その種の動向を自動撮影カメラ等を用いながら随時状況を確認し、対策等に必要な情報を収集する。	必要に応じて、種の生息地マッピング及び、生息状況の確認。	・自動撮影カメラ等による生息状況の確認。

	事業方針	事業概要	環境基本計画方針
Ⅱ	データに基づく保全対策	【調査・研究・保全事業】 海浜植物保全に関する生態・生育情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。	生物多様性の保全

②植生管理に係る手法の検討・検証

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1. 聚富海岸植生再生試験 (モニタリング調査協力)	海浜植生の再生手法の検討(主催:道総研)	道総研との連携協力。★	・植生調査の実施等
2. 海浜植生の 維持管理手法の検証 (海岸草原保全手法の検討)	現地調査データを参考に、海浜植生の効率的な維持管理を模索し、保全管理に関わる知見や技術を蓄積する。	・見本植生区のデータに基づいた植生管理(観察園、ハマナス再生園)。 ・自生種による外来種防除実験の検証。	・既存調査区のモニタリングから必要に応じた植生管理(I-①-2) ・ハマナスの生育阻害となっている種の除去跡に、見本植生データをもとにした植生管理(自生種の移植)の効果検証 ・管理作業実施前後の植生記録

## 事業方針

## 事業概要

## 環境基本計画方針

Ⅱ

データに基づく保全対策

【調査・研究・保全事業】

海浜植物保全に関する生態・生育情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。

生物多様性の保全

## ③希少種

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.希少種イソスミレの生育状況の把握	希少種イソスミレの生育地について、地理情報及び植生構成を押さえ、環境変化に左右されやすいイソスミレの保全対策に繋げる。	イソスミレの分布と、個体群構成調査、周囲の植生調査の継続。★	・分布、個体群調査(5月) ・周囲の植生調査(8～9月) ・今後のモニタリング手法について検討
2.ハマボウフウの生育状況の把握	保護地区内外のハマボウフウの生育状況の比較と継続的な採取圧による生育への影響を把握し、今後の自然ふれあい地区におけるハマボウフウの科学的データに基づいた持続可能な資源利用への根拠データとする。	設定した調査ラインでエリアごとの生育状況、採取状況について把握する。	・サイズ別株数等の記録 ・監視員業務等の情報を用いて採取状況の把握
3.その他	環境省及び北海道のレッドリストに記載されている希少種、及び個体群として今後石狩浜で状況を押さえる必要がある種について、生育・分布情報をモニタリングし、対策に繋げる。	エゾスカシユリ、エゾチドリの分布状況について記録。	・開花時期に位置情報を記録、分布の把握

## 事業方針

## 事業概要

## 環境基本計画方針

Ⅱ データに基づく保全対策

## 【調査・研究・保全事業】

海浜植物保全に関する生態・生育情報の収集、収集したデータの蓄積・考察・検証から必要な保全対策の検討をする。

生物多様性の保全

## ④外来種

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
現状の把握★	石狩浜の生物多様性保全のために、外来種の早期発見と防除の実施を検討する。	他機関や他の調査等の情報をもとに、外来種の早期発見をすると共に、必要に応じて早急な防除対策に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多方面からの情報収集</li> <li>・必要に応じた現地調査</li> </ul>

## ⑤資料・データの集約・管理

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1. 標本の管理	地域資料の保管と、保全を進めるための情報の収集と管理をする。	適切な環境で保存されるように、日常的な点検をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本の定期点検</li> <li>・調査報告書の作成、関係機関報告書の収集など</li> </ul>
2. 自然情報の収集・管理	環境調査、モニタリング、その他石狩浜に関わる調査研究の報告書などのデータを一括管理し、保全及び情報発信のデータベースとして構築する。	収集データについて、まとめて公開できる体制を検討する。★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告書の作成、関係機関報告書の収集など</li> <li>・既存の蓄積データと今後の調査データを合わせた収集・管理の検討</li> <li>・公開の手法検討</li> </ul>

事業方針

事業概要

環境基本計画方針

Ⅲ	自然資源の適正管理と適正利用	<p>【自然資源の保全・活用】 海浜植物等保護地区における海浜植物や地形の状況把握、過度なレジャー利用に対する注意喚起、本来の保護地区としての利活用に関する維持管理、事業の実施。</p>	<p>自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上</p>
---	----------------	---	-----------------------------------

①保護地区の利用状況把握・監視・維持管理

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.車両侵入の有無、誘導ロープ等の設置・修繕	<p>条例に基づいた海浜植物等保護地区の海浜植物等を保全するための維持管理をする。</p>	<p>監視員の情報をもとに現状を把握し、必要に応じた対策を都度実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監視員の配置</li> <li>・現状の保護地区の監視、車両侵入への対応、ロープの補修等を実施</li> <li>・柵の維持管理</li> <li>・管理者との情報共有</li> </ul>
2.単管柵の維持管理			

事業方針

事業概要

環境基本計画方針

Ⅲ	自然資源の適正管理と適正利用	<p>【自然資源の保全・活用】 海浜植物等保護地区における海浜植物や地形の状況把握、過度なレジャー利用に対する注意喚起、本来の保護地区としての利活用に関する維持管理、事業の実施。</p>	<p>自然との共生 環境教育の推進、環境意識の向上</p>
---	----------------	---	-----------------------------------

②景観保全による観光資源利用

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
はまなすの丘公園木道 周辺の植生維持管理	海浜植生の維持と、観光地の景観保全を目的にした植生管理を図る。	公園内における持続可能で効果的な外来種等の防除を検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者への連絡調整</li> <li>・少人数での二セアカシア等の除去作業の試行</li> </ul>

③保護地区のルールの普及啓発

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
体験プログラムを通じた 自生地保全の普及啓発	自然とのふれあいを通じて、保護地区や石狩浜の自然に関する普及啓発を図る。	既存のプログラムに連動した保護地区の普及啓発の実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海浜植物を活用したプログラムの作成</li> <li>・実施に向けたモニター実施</li> </ul>



事業方針	事業概要	環境基本計画方針
IV 石狩浜の自然に対するシビックプライド浸透のための基盤づくり	【資源活用の基盤整備事業】 持続可能な範囲内で海浜植物を活用していくことで、自然とのふれあいの創出や、多様な主体が保全に関わる基盤の構築。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上 様々な主体との連携・協働

## ①環境学習・生涯学習

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
1.教育機関へのプログラムの実施★	石狩浜の海浜植物をはじめとした、石狩浜の自然について知る機会の創出を目的に、取り組みやすい仕組みづくりと実施をアクティブラーニングを主体として進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な実施と見直しを続ける</li> <li>・生物多様性の発信に向けた内容の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習の実施/検証/修正</li> <li>・補助教材の見直し/修正</li> <li>・引き出しクイズの検討/修正</li> </ul>
2.センター施設を活用したプログラムの実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>・海浜植物の特徴を利用した体験プログラムの実施。</li> <li>・植生管理と連動した資源活用プログラムの開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほりほり体験/クラフト体験の実施</li> <li>・新たなプログラムの開発と検証</li> </ul>
3.センター外での普及啓発の実施	センター外を会場に、石狩浜の海浜生態系を中心として、自然環境に興味を持ってもらうための普及啓発を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石狩浜トランクキットや、センタープログラムを活用した市外イベントへの参加協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携団体主催事業への積極的な参加(CISEネット/館ネット)</li> </ul>

事業方針	事業概要	環境基本計画方針
IV 石狩浜の自然に対するシビックプライド浸透のための基盤づくり	【資源活用の基盤整備事業】 持続可能な範囲内で海浜植物を活用していくことで、自然とのふれあいの創出や、多様な主体が保全に関わる基盤の構築。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上 様々な主体との連携・協働

## ②ハマナスを活用した普及啓発

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
ハマナス再生プロジェクト	ハマナスをシンボルとした石狩浜の魅力向上と、自然環境保全に対する普及啓発を石狩浜ハマナス再生プロジェクト協議会とともに目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生園のハマナスを活用したイベント、体験や学習の受け入れ協力</li> <li>地域資源として花卉・花びらを活用する企業への協力</li> </ul> ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>共催イベントの実施（はまなすフェスティバル）</li> <li>体験型ツアー等での利用にかかる対応</li> <li>ハマナスの花弁・果実の採取管理</li> </ul>

### 石狩浜ハマナス再生プロジェクトとは？

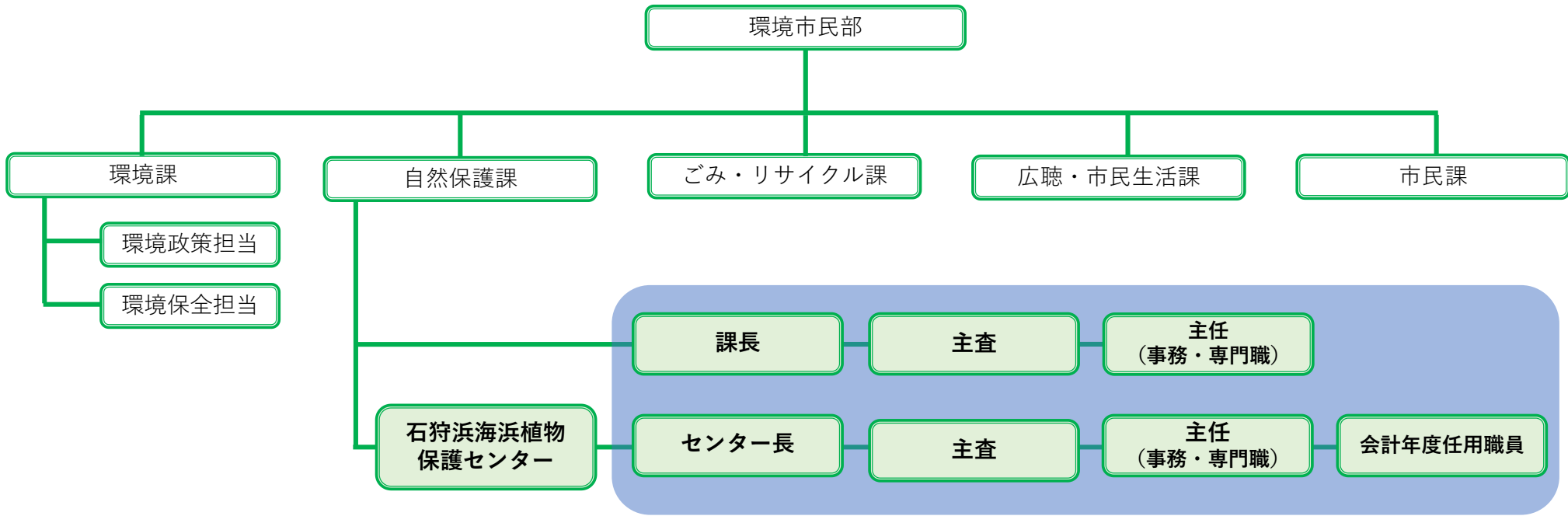
ハマナスの咲く石狩浜の風景を未来に残し、ハマナスをシンボルに自然と共生する地域づくりを目指すプロジェクト。市民、事業者、石狩市が連携して、「ハマナス再生園」の整備に取り組み、イベントの実施やハマナスの商品づくりを通じて石狩浜と地域の魅力を発信する。

事業方針	事業概要	環境基本計画方針
IV 石狩浜の自然に対するシビックプライド浸透のための基盤づくり	【資源活用の基盤整備事業】 持続可能な範囲内で海浜植物を活用していくことで、自然とのふれあいの創出や、多様な主体が保全に関わる基盤の構築。	自然との共生 環境教育の推進、 環境意識の向上 様々な主体との連携・協働

### ③参加型普及啓発

項目	目的	年度目標	具体的な業務内容
市民参加型の自然情報収集	オンラインフォームを活用し、自発的に石狩浜の自然を観察する人を増やす。	情報フォームの作成、集めた情報の公開基準、保管などの体制を整える。	・自然情報フォームの作成、試行、検証

# 5. 石狩浜海浜植物保護センター運営体制



※自然保護課と保護センター兼務

- 会計年度任用職員
- ・普及員（週29時間） 2人
  - ・普及員（週20時間） 1人
  - ・監視員 1人